

勿凝学問 51

自由、それとも無策？
一県一医大構想、自由競争の帰結

2006年11月4日
慶應義塾大学 商学部
教授 権丈善一

なぜ、医師不足が生じたのか？.....	1
地域医療の崩壊と医学部受験市場での「自由」との関係	2
地域医療を育てるために	5

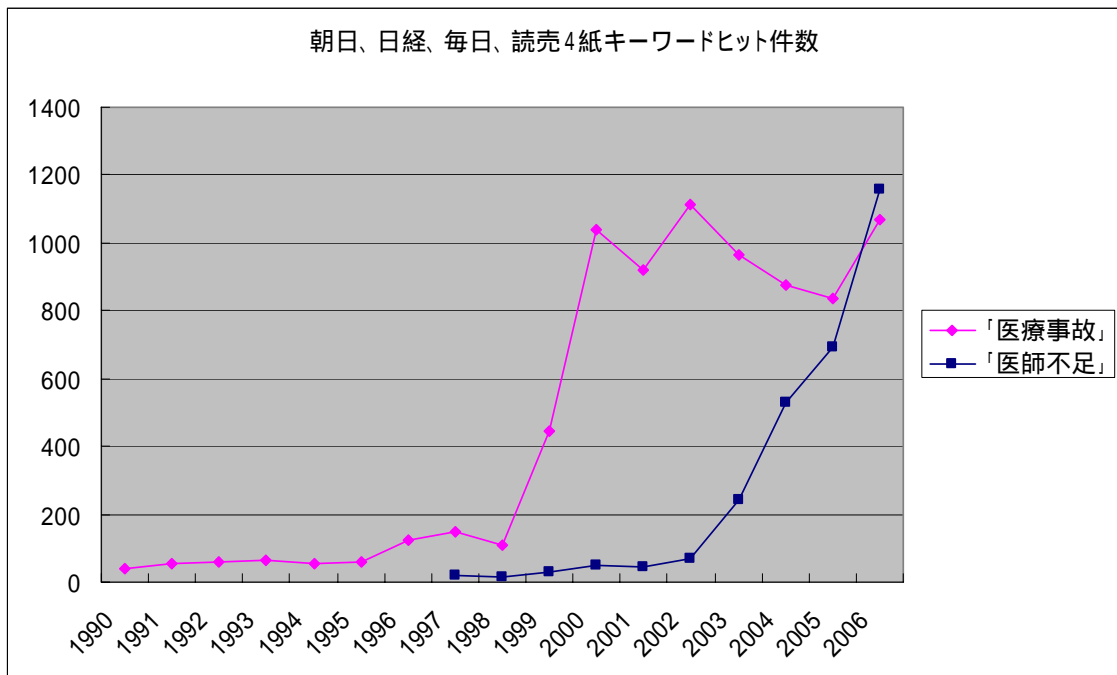
「勿凝学問 50」につづく、最近の講義内容の文章版である。

なぜ、医師不足が生じたのか？

「勿凝学問 48 なぜ、医師不足が生じたのか？ 不確実性への無理解が生む社会保障論の混乱」にて、今日的医師不足の主因は、下記のストーリーの中にあることを論じた。

今日的な「医師不足」が起こった原因に関する有力な仮説は、大方、次のようなものである。医療事故報道に端を発し、患者は、医師への不信感を高めて攻撃的となる。医師は、医療の正当性を保証するための仕事が増えるのみならず、患者からの攻撃を受けやすい診療科を忌諱するようになる。そこに 2004 年からの臨床研修制度の導入が重なって医師不足を加速する。ある種、＜風が吹けば桶屋が儲かる＞のような原因と結果までの距離が遠い仮説ではあるが、この仮説は、風が吹けば桶屋が儲かる式の話とは異なり、論理の結節がしっかりしている。それを実感し、医療の現場でなにがおこっているのかを確かめてもらうためには、事例も豊富に紹介されている小松秀樹氏の『医療崩壊』を読んでもらうしか方法はないようにも思える。

そして、日経テレコム 21 で、「医療事故」、「医師不足」をそれぞれキーワードとした検索ヒット件数を次の図のようにまとめて、上の仮説を検証してみた。



今日は地域医療の崩壊について考えてみようと思う。

地域医療の崩壊と医学部受験市場での「自由」との関係

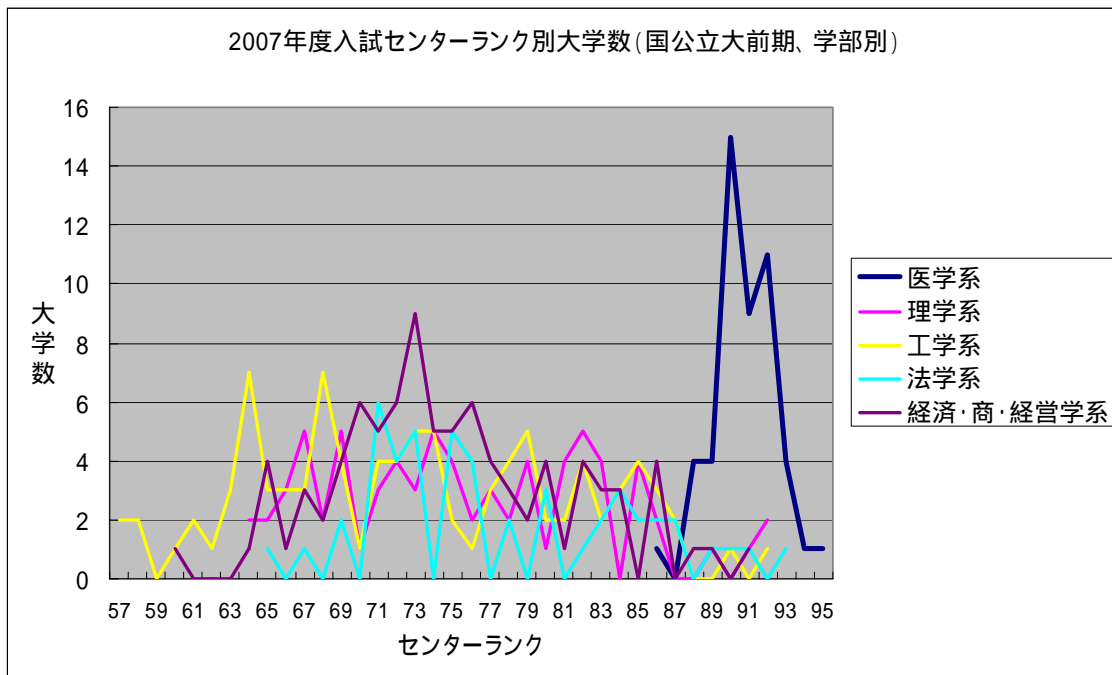
地域医療の崩壊が言われている。一県一医大構想のもと一県に少なくとも一つの医大をおき、その卒業生たちが、地域医療を担ってくれるはずだったのに、彼ら地方医大の卒業生は、卒後、みずからの出身地である都市に戻ってUターン就職してしまうのである。これがかなり深刻な構造的問題であることを考えるために、先日、学生を予備校に派遣した。

「ちょっと、予備校に行って、医学部の受験情報をさぐってきてくれないか」

「お任せあれっすよ。2年間、予備校でほぼ毎日ながめていた本に載っていると思いますから、おやすいご用ですヨッ」

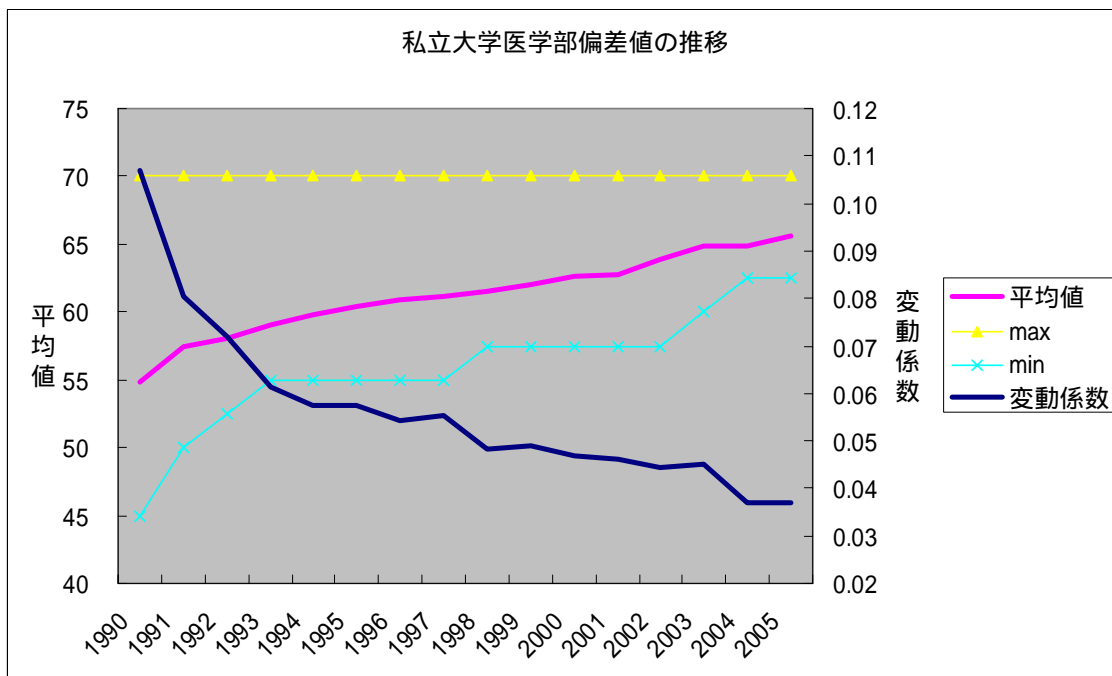
「それ、あんまり自慢気に話をしない方がいいと思うけどなぁ・・・」

こうして、次のふたつのグラフを作成した。



出所) 代々木ゼミナール「入試難易度ランキング」

<http://www.yozemi.ac.jp/rank/gakka/index.html>



出所) 河合塾 / 全国進学情報センター 『90年度 大学入試研究会資料』

河合塾 / 全国進学情報センター

『大学入試研究会資料 大学入試結果追跡』各年版

注) 医学部設置の私立大学全 29 校のうち、産業医科大学を除く 28 校を対象。

センター試験を加味する産業医科大学のデータは、

国公立大学医学部の個所に記載されている。

医学部入学の難易度は、度を超えているようにみえる。そして難易度は、1990 年以降徐々に高まり、その間の変動係数の低下からうかがい知れるように、医学部入学の難易度の高まりは、例外を許さない状況になってしまっている¹(1990 年では偏差値 45 で医師を志望できたようであるが、今は最低 62.5)。大学では不況になると学生の出席率が高まるのと同じ理由により、ここ 10 数年の不況のもと受験生の医学部人気が高まってきたのであろう。

これでは、有名進学高校の学生しか医学部に入学することはできまい。秋口まで運動会をのんびりとやっているような地方の公立高校の学生には、地元にある医学部志望というのは少々厳しすぎる状況になってきているはずである。一県一医大構想が立てられたのが 1973 年であり、そのねらいは、地元出身の医学生を入学させれば、卒業後、その医学生は地域に根付いた医師として育ててくれるはずということにあった。けれども、今や一県一

¹ 「私立大学医学部偏差値の推移」データの出所と作成方法

『90 年度入試実態難易ランキング表』

『91 年度入試実態難易ランクー一覧表』

『92 年度入試合否追跡資料集』(92 年度から 95 年度までが同タイトル、ただし、95 年度版では、国公立大学・センター試験利用私立大学 私立大学・短期大学・専門学校と分けられる。

(それまでは一冊に国公立、私立がまとめられていた)

『96 年度大学入試結果追跡』 国公立大学 私立大学・短期大学・専門学校(96 年度から 2001 年度まで同タイトル)

『2002 年度大学入試結果データ』 国公立大学 私立大学・短期大学・専門学校(2002 年度から 2005 年度まで同タイトル)

- なお、90 年度から 93 年度までは掲載されている私立の偏差値ランキングは、次のように表記されていた。

(ランク)

M - 70.0 以上

00 - 67.5-69.9

01 - 65.0-67.4

02 - 62.5-64.9

03 - 60.0-62.4

04 - 57.5-59.9

05 - 55.0-57.4

06 - 52.5-54.9

時系列で示した数値は、ランクの値域における最低値を用いている。

94 年度以降は、ランクではなく数値で表示されるようになったため、その数値をそのまま用いた。ただし、94 年度以降も、偏差値最高ランクは、M-70.0 以上としか表記されていない。

- データ収集には慶應義塾大学大学院伊藤英孝君、学部ゼミ学生大野琢磨君、田中貴英君の協力を得ている。

医大構想は有名無実化していると推察される。

地域医療を育てるために

地域医療のために、いくつか思いつくことをまとめておく。

- 卒後、医師として生きていくのに、これほどに高い大学入試時の偏差値が必要なのか？ 医師に訊くしか術はなし。
- 既に多くの医師が言っているように、医学部入学定員増、かつ医師養成期間の短縮化、入学者の多様化の狙いも込めて学士・修士入学を一般化させ、さらに彼らに地域に根付いてもらうために医学部の受験時・卒業時での政策誘導を強化するというのが自然。

しかしながら、現実には、1982年の閣議決定「医師の過剰供給を抑制する」というゴーストにしばられてか、政策には慣性が働いているようで、政府は今日的医師不足を認めようとはしない²。

彼らは「医師偏在」という言葉を使い、医師の分布をならせば今日的医師不足問題は解決するというのであるが、日本では、都市でも医師不足は深刻化しているのである。

ここ数年の医師患者関係の変化による医師業務の激増（勿凝学問 48 参照）、医療技術の趨勢的变化を受けて日本の医師は不足して医療は危機的な状況にあるのだが、根本的には、

² 次の資料を紹介しておく。

医学部の定員増は必要なし 厚労省が医師需給を予測、しわ寄せは勤務医に」『Nikkei Medical』(2006. 9), p.49.

「医師の需給に関する検討会」が7月28日にち、報告書をまとめた。骨子は「2022年には充足するため、医師を増やす必要はない」というもの。現場の感覚と乖離した結論の背景には何があったのか。

病院および診療所に勤務する医師数は2004年時点で25.7万人。・・・必要医師数は26.6万人で9000人足りないものの、2022年には需要と供給が均衡する。偏在はあるものの、数としては充足するため、安易な医学部定員の増加は行うべきではない。これが厚生労働省の「医師需給に関する検討会」の最終報告だった。

苛酷な労働条件を強いられる勤務医にとってみれば、耳を疑うような結論だろう。だが、その報告書の真意は別のところにあるようだ。

・・・

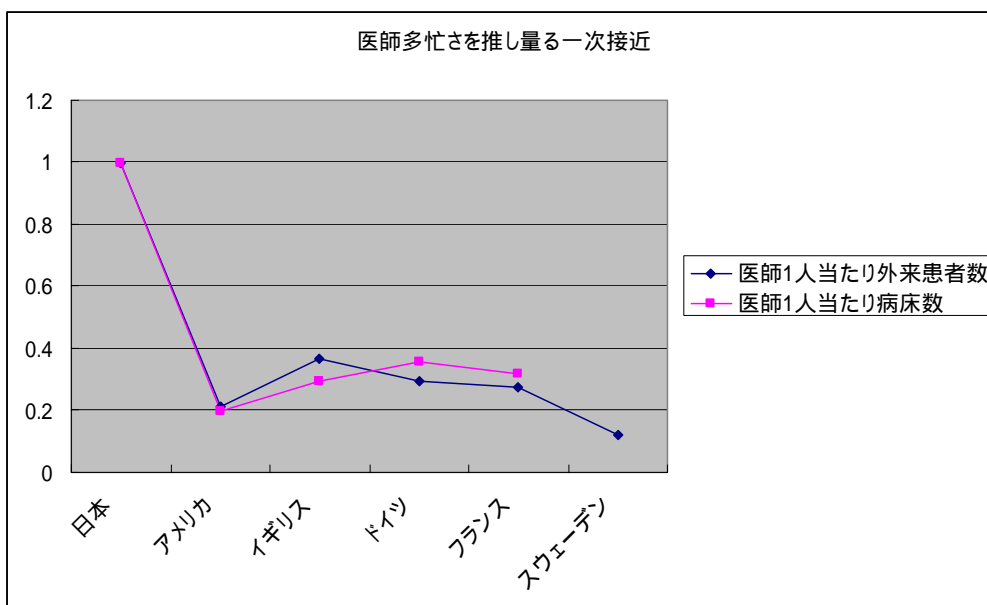
検討会のある委員は「検討会は1982年の『医師の過剰供給を抑制する』という閣議決定をひきずっている。財務相の目がある中で、あれ以上の結果を引き出すのは無理だろう」と語り、将来的に医師数が充足するという“結果ありき”の議論だったことを言外におわせる。

・・・

皮肉にも、検討会の現場の意見が一致するのは「このままでは日本の医療は崩壊する」ということ。医学部の定員増という方向性を選ばなかった以上、今後、勤務医の負担を軽減するための施策作りは待ったなしだ。

患者の数に比して、医師の数が少なすぎるのが原因としてある。

勿凝学問 48 でも用いたが、医師の多忙さを推し量る一次接近として、医師 1 人当たり外来患者数と医師 1 人当たり病床数をとってみる。ここで比較対象としたアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの医師 1 人当たり外来患者数、医師 1 人当たり病床数（入院患者数の代理指標）は、ともに日本の医師の 3 分の 1 から 5 分の 1 程度である。この図から、日本の医師がどれほど忙しく働いているのか、簡単に想像できるはずである。



資料) OECD(2006), Health Data.

注)

医師 1 人当たり外来患者数=

$(\text{Doctors consultations - Number /capita}) / (\text{Practising physicians - Density /1000 pop.})$

医師 1 人当たり病床数=

$(\text{Total hospital beds - /1 000 population}) / (\text{Practising physicians - Density /1000 pop.})$